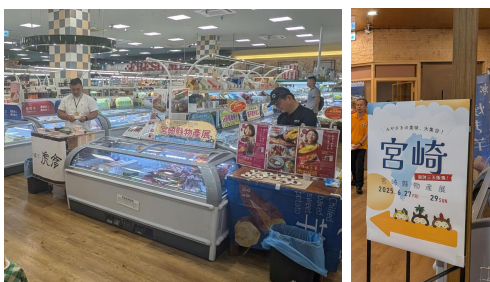


宮崎懸物産展 in 台中・裕毛屋



宮崎一台北の国際定期便が再開されて約一年。今後とも一人でも多くの台湾の方々を本県に誘致できるよう取り組んでいます。

海外誘致部 主事 本田 聖真



(上) 会場となった高級スーパー裕毛屋
(中) 売り場の様子。県産品約150点を販売しました。
(下) 観光ブースでは宮崎往復航空券などが当たる抽選会を実施しました。

令和9年6月まで 協会新体制 発足

6月23日に当協会の評議員会が、7月2日には理事会（書面）が開催され、今後2年間の会長、副会長、専務理事、常務理事が選定されました。このうち副会長については、富森信作・宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合理事長が新たに就任しました。



6月23日に開催された第2回評議員会の様子

公益財団法人宮崎県観光協会

【会 長】 米良 充典・米良電機産業株式会社 代表取締役会長
【副 会 長】 春山 豪志・株式会社宮崎放送 取締役会長
新任 【副 会 長】 富森 信作・宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合 理事長
【専務理事】 田村 伸夫・公益財団法人宮崎県観光協会 参事
【常務理事】 飯塚 實・公益財団法人宮崎県観光協会 事務局長



新規採用職員です

今年度、新たに5名が採用されました。よろしくお願いします。

【左から】田村伸夫・参事

布施慶太郎・総務企画・スポーツランド推進局長
山台修一・同局スポーツランド推進部長
飯干敦子・同局スポーツランド推進部業務主任
荒川政之・観光推進局国内誘致部長



【発行】 公益財団法人宮崎県観光協会 総務企画部
〒880-0811 宮崎市錦町1番10号
宮崎グリーンファイア壱番館



(KITENビル)3階
TEL:0985-26-6100
FAX:0985-26-6123
info@kanko-miyazaki.jp

新たに入会いただいた 賛助会員を紹介します

株式会社 わくわくセンター

代表者 藤井 貴広
所在地 宮崎市

大学のサテライトキャンパスや貸会議室を備えた、宮崎の新たな交流拠点「ひなたキャンパス」を運営しています。

有限会社 高崎観光バス

代表者 田口 光信
所在地 都城市

路線バス4路線の運行と県内外での観光バス運行、スクールバス運行、自治体公用車の運行管理を行っています。

ファーストジャパン株式会社

代表者 中武 利仁
所在地 高原町

地元密着型の旅行会社です。旅券や宿の手配はもちろん、訪日旅行者向けの観光プランもワンストップでご提案します。

株式会社 訪う

代表者 日高 葵
所在地 高千穂町

インバウンド専門・九州特化型の旅行会社です。ローカルに根差したプログラムやツアーを展開しています。

MLT株式会社

代表者 榎木 祐介
所在地 宮崎市

スポーツイベントの企画運営とGARMINスマートウォッチの販売を通して、地域の笑顔を増やす事を念頭に日々取り組んでいます。



宮崎県観光協会

ニュースレター

Miyazaki Prefecture Tourism Association News Letter



皆様には日頃より当協会の事業・取組につきまして御理解・御協力をいただき感謝申し上げます。最新のニュースレターをお届けします。御一読いただけましたら幸いです。

市町村観光協会等 会長会議開催



市町村観光協会の皆様と連携し、観光振興に取り組んでまいります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

観光推進局長 田原 幸治



5月22日、宮崎市で市町村観光協会等会長会議を開催しました。この会議は昨年度に引き続き開催したもので、県内の市町村観光協会等16団体から会長・事務局長等21名が出席、各協会等の取組み内容、抱えている課題の解決策等について活発な意見交換を行いました。

観光振興を図る上で、各地域における課題は様々であり、地域の実情に応じた、個別の対応が求められます。

当協会では今後、更に共通認識を深めるため、県内3箇所ブロック別会議を行うこととしており、各市町村観光協会と密接に連携の上、相互に協力した事業を展開して、観光客の誘致に取り組んでいきたいと考えています。



(上) 市町村観光協会等会長会議の様子。各団体の取組など、本県の観光振興に向けて活発な議論が繰り広げられました。

(右) (下) 秋川直也観光庁長官講演会の様子
(右下) 秋川直也・観光庁長官



秋川直也 観光庁長官講演会



市町村観光協会等会長等会議に続いて、国土交通省観光庁秋川直也長官をお迎えして講演会を開催しました。

講演会には会長会議出席者に加えて、当協会の賛助会員である観光関連事業者や県議会観光振興議員連盟の会員など約

150名が参加。秋川長官は、本県について、気候や食事など外国人観光客が好む要素が広がっていることからインバウンド誘致の推進を、また、地方創生と観光振興は表裏一体であり、データに基づく正しい計画を立てれば成果を出せることを呼びかけました。



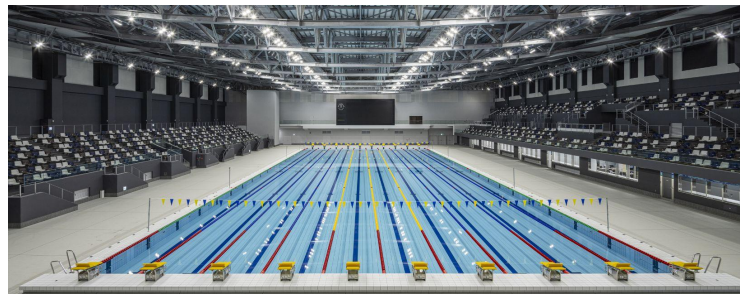
スポーツ施設が続々オープン スポーツランド推進へ



スポーツランド推進部 部長 山台 修一

国スポ・障スポに向け整備されたスポーツ施設を有効に活用するため、大会やキャンプ等の誘致に積極的に取り組んでいます。

2027年の国スポ・障スポに向けたスポーツ施設の整備が進んでいます。都城市山之口運動公園は4月12日に供用開始し、5月3日にはこけら落としとしてラグビーリーグワンの公式戦が行われました。また、新プール「パーソルアクアパーク宮崎」は4月1日に供用開始、早速4月14日から5月21日まで、競泳韓国代表チームが合宿を行いました。このほか、一昨年供用開始したアスリートタウン延岡アリーナのサブアリーナでは女子バレーボールのSAGA久光スプリングスが初の宮崎合宿を実施、今年10月以降に一部供用開始予定の県総合運動公園テニスコートでは、来年12月にデビスカップ男子日本代表の合宿が決定しており、今後ともスポーツランド宮崎の更なる推進の起爆剤となる合宿等の誘致に取り組んでいます。



(左上) 山之口運動公園「KUROKIRI STADIUM」。こけら落としとしてジャパンラグビーリーグワンの公式戦が行われました(左下)。(右上)「パーソルアクアパーク宮崎」。5月21日まで合宿を行った競泳韓国代表チームの歓迎式典の様子(右中)。(中下) 宮崎合宿を行うSAGA久光スプリングスへの県産品贈呈式の様子。(右下) 県総合運動公園テニスコート完成予想図。



日本選手権に向け サニブラウン宮崎合宿



歓迎式典の様子と練習風景

陸上男子100m、200mで日本人歴代2位の記録を持つサニブラウン・ハキム選手が、7月4日開幕の日本選手権に向けたトレーニングキャンプを本県で初めて行いました。合宿は6月20日から27日までの一週間、宮崎市のひなた宮崎県総合運動公園と都城市の山之口運動公園「KUROKIRI STADIUM」で行われましたが、サニブラウン選手は、サッカー元日本代表の香川真司選手から宮崎の食事や環境の良さを聞き、ぜひ宮崎に来てみたかったとのこと。9月の世界陸上の前にもまた宮崎で合宿できればと、本県の練習環境が気に入った様子でした。

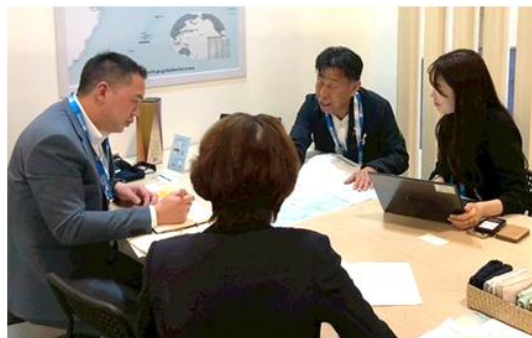
シートレード・クルーズ・ グローバル2025



外国船の本県への寄港は回復傾向にあり、ラグジュアリー船やプレミアム船の、宮崎港を含む寄港に関する問い合わせも増加傾向にあります。

海外誘致部 部長 鷹取 善昭

本県に寄港するクルーズ船の誘致に向け、4月8日から10日まで、米国のマイアミで開催された見本市「シートレード・クルーズ・グローバル2025」に出展しました。この見本市は船社をはじめとしたクルーズ産業に関わる企業等がPRとセールスを行う、世界最大のクルーズ見本市で、寄港地選定や寄港地観光の決定に影響を持つクルーズ船社のキーパーソンや業界有識者が世界中から集結する場です。当協会は会場に本県ブースを設置。1万人以上の来場者に対し宮崎、細島、油津各港の場所や近隣の観光名所、受入れ環境などを紹介、個別ブースでの商談も実施しました。コロナ禍で落ち込んだ本県へのクルーズ船の寄港回数は回復傾向にあり、今年度はコロナ禍前の水準を上回ることが期待されています。寄港地間の誘致競争の激化も予想される中、協会では今後、本県の魅力をPRして、更なる寄港回数の増加に繋げていきたいと考えています。



(上) 多くの入場者で賑わう会場内日本ブース。(中) 本県港湾のPRの外、(下) 個別商談も行いました。

韓国国際旅行博 Travel Show 2025



今後とも宮崎の魅力ある観光資源を積極的にPRし、韓国からの観光客誘致に取り組んでいます。

海外誘致部 課長 柏田 英之

5月15日から18日まで、韓国高陽市で国際旅行博「Travel Show 2025」が開催されました。この旅行博は韓国最大規模のもので、本県も韓国からの観光客増に繋げるため、ブースを出展して観光地の紹介等を行い、本県の魅力を発信しました。この博覧会には世界各国の観光機関や旅行会社、ホテルなどが約140のブースを出展。期間中に10万5千人の入場者が会場を訪れました。本県ブースでは本県の魅力を掲載したチラ



(左・右) 会場には連日、多くの入場者が詰めかけました。(右上) 本県ブースも連日盛況で、本県の魅力をPRしました。



昨年度の最優秀作品
「御田祭」
撮影:綾 順博

みやざき観光カレンダー2026 フォトコンテスト実施中



宮崎県には魅力あふれる観光スポットがたくさんあります。その魅力を発信していくことにより宮崎県観光をPRしていきます。

国内誘致部 部長 三井 芳朗

宮崎県観光協会では例年、宮崎の魅力を伝える「みやざき観光カレンダー」の作成に当たり、使用する写真を募集する「フォトコンテスト」を実施しています。現在、2026年版のカレンダー作成に係るコンテストを実施中です。自慢の写真をふるってご応募ください！

【締切】7月31日(木)
【賞金】最優秀賞(1作品) 20万円
優秀賞 (2作品) 10万円
入選 (10作品) 1作品につき3万円
【応募先】下記アドレスあてにご応募ください
calendar@kanko-miyazaki.jp



※応募に際しては細かい規定もありますので、必ず宮崎県公式観光サイト「みやざき観光ナビ」より募集要項をご確認ください。

シヤガイドマップの配布のほか、宮崎ーソウル線の利用促進に向けて、現地旅行会社と連携して本県の夏の旅行商品の販売も行いました。韓国からの観光客は冬場のゴルフ客が多く、夏には減少傾向にあるため、観光資源を生かしたサーフィン等のPRを行い、年間を通した観光客の誘致に取り組んでいきたいと思っています。

